

多まなび

 **放送大学** 東京多摩学習センターだより第24号 2019年10月発行

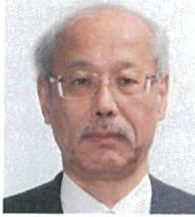


「多摩の風景7ー林の歌ー」 齋藤文孝

発行 放送大学東京多摩学習センター 〒187-0045 東京都小平市学園西町 1-29-1

TEL : 042-349-3467 E-mail : tama-sc@ouj.ac.jp URL : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tama/>

着任半年を終えて



東京多摩学習センター所長・特任教授

ごみ まさのぶ
五味 政信

この4月に坂内徳明前所長からバトンを受け継ぎ、ようやく第1学期を終えようとしています。本『多まなび』編集部から「第1学期を終えての所感を」とのリクエストをいただきましたので、4月以降を振り返ってみたいと思います。

引継ぎ時に坂内前所長から伺っていたとおり、学習センターにとっての最大の仕事は7月19日に始まり28日に終了した、10日間（なか休日2日間）にわたる「単位認定試験」でした。東京多摩SCでの受験登録者数は延べ5,640名、実施試験科目数は学部・大学院の合計で372科目、試験の監督員・監督補助員は延べ450名余でした。朝9:15に第1時限が始まり、18:45に第8時限が終了するまで、全国一斉、同時間帯に同一複数科目の試験を実施しており、ミスは許されないという緊張感に満ちた、長い長い一日の連続でした。受験者の皆さんの真剣な緊張感が伝わってきますので、私たち教職員も監督員も同様の緊張感をもって職務に当たっていました。

いつもは比較的静寂な学習センター全体に、この期間には多くの学生の皆さんが集結しテキストとノートを開いて試験準備する様子を前に、学びの舍である学習センターの活気に満ちた姿を知りました。5,640名の受験者と、372科目の試験科目を滞りなく、ミスなく実施する当SC職員の仕事ぶりとその手腕に、この学習センターが創り上げてきた伝統を感じ、感謝とともにたいへん嬉しくもあった10日間でした。

「第1学期を終えての所感」・・・実にいろいろなことがありました。実に多くの人々と出逢いました。実にたくさんの方のことを学びました。そして、その一つひとつが刺激的で、実に充実したとても楽しい6か月でした。

第2学期、いっそう多くの出会いを期待しています！

新入生の皆さん、ようこそ放送大学へ！

そして、ようこそ皆さんの学び舎、東京多摩学習センターへ！

東京多摩学習センターでは、一般教養を涵養する授業科目から、高度で専門的な知識を充てんする授業科目までを用意して、在学生の皆さんの学びを豊かにするべく努めています。

私たち教職員一同、皆さまの所期の目的が達せられるよう全力でお手伝いさせていただきます。

新任のご挨拶



東京多摩学習センター客員教授

きじま あきら
木嶋 彰

本年8月より、当学習センターに客員教授を拝命することになりました、木嶋彰です。

私は、東京芸術大学美術学部絵画科、大学院で油彩画を学び、1979年以降、作品発表を積極的に行ってまいりました。それらは、色とかたちの関係をよりシンプルに視覚化しようとするもので、現代美術、現代絵画の文脈に位置づけられています。現在は、新しい展開として「ジャズ」をイメージした音楽的な時間を、即興的な筆致で表現することを試みています。

利便性や快適性を提供する工業化・情報化社会にあって、より深く心に感動をもたらす芸術作品に出会うことは、大きな意味があります。授業では、画一化する感性から感性の拡張が実感できるような情報を発信したいものです。自分の目で見たことを自分の言葉で考え表現できることが目的です。また、多様な学生諸君との議論を通じ、私自身が見落としている現代や美についてのキーワードに出会うことも楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年春の所長表彰



2019年4月6日（土）、東京多摩学習センター所長表彰が行われ、対象者41名のうち15名が出席されました。ご卒業・ご受賞、誠にありがとうございます。

＜受賞者からのメッセージ＞

- ・思いがけなく所長表彰を頂くことになり大変ありがたく思っております。学ぶことは楽しいです。しかし、なかなか理解できず苦しい時期もありました。放送教材を繰り返し活用し、理解の糸口が見つかりました。放送大学で学んだことは、人生を豊かにしてくれました。今後の生活に生かしていきたいと思えます。
- ・5つのコースを終え、人や動物の心、自然、環境、宇宙のこと、福祉、文化や歴史等のほんの入口を学ぶことができました。放送大学での学びは、6か月サイクルで科目の選定から、印刷教材やインターネットでの学習、通信指導の提出、単位認定試験や面接授業の繰

り返しが、退職後の生活に緊張感を与え、日々退屈感を味わうこともなく有意義に過ごさせてくれます。

- ・「成績優秀者賞」を頂きまして、誠にありがとうございます。お陰様で、当初目標の天文、生物分野の科目を一通り受講することができました。4月からは情報コースに入学させて頂くこととなりました。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・この度表彰して頂きありがとうございます。これからの就学の励みとさせていただきたいと思えます。3階フロアの、愉しそうな学生の集合写真や、高齢の方の就学の記事など拝見し、センターで元気をもらいながら卒業することができました。
- ・本年4月から教養学部の3つ目のコースに入学を認められた。卒業時は85歳になる。健康を管理し、頑張りたい。

2019年度第1学期入学者の集い



2019年4月6日（土）、2019年度第1学期入学者の集いが行われ、東京多摩学習センター所属の入学者1001名のうち121名が出席されました。ご入学誠にありがとうございます。

＜参加者からのご感想＞

- ・学習をスタートするにあたり、ひとつの節目として参加させて頂きました。これから様々な学びが始まることへの期待を持つことができました。
- ・先生方や卒業生の方のお話をうかがい、あらためて

「知」の空間の学習の楽しさを感じ、勉強への決意を新たにしました。

- ・学業から離れて数十年経ち、学習を始めることに心身ともに不安があります。手助けを求めたら、親切に教えて頂ける様子なので安心しました。
- ・自分との戦い、孤独、と思っていましたが、今日参加して、こんなに多くの方が、目標は違えど勉強されるんだと思い、勇気がわいてきました。単位取得に向けてがんばります。

公開講演会『宇宙はなぜブラックホールを造ったのか』



2019年8月4日（日）、放送大学教授の谷口義明先生による公開講演会『宇宙はなぜブラックホールを造ったのか』が開催されました。

<参加者の感想>

- ・本当はとても難しい天文学のお話を、ユーモアを交えながら私たちにもわかりやすくご講演くださり、とても勉強になりました。仕事に余裕ができればぜひ先生の授業を受講したいと思います。
- ・ブラックホール・シャドウとは何か、どうやってブラックホールを観測したのかを理解できてよかった。
- ・物理学の難しい内容が、谷口先生の例えが面白く、好



奇心を満足させてくれるものだった。

- ・難しいと思ったテーマだったけど、先生が豊富な資料を用意してくださってわかりやすかった。とても大きな数字の世界だと感じました。現在進行形の研究について触れられているのも、よかった。
- ・放送授業では見られない谷口先生のお茶目な面が見られ、楽しかった。
- ・夢とロマンを楽しむことができました。
- ・私たちは時間と空間の中で生きているのかと思うと、宇宙の壮大さを改めて感じました。ブラックホールについてもっと知りたい・学びたいと思いました。

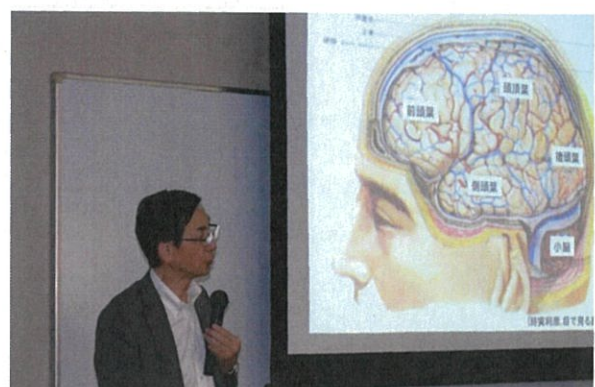
公開講演会『脳とこころの健康をめざして』



2019年8月31日（土）、国立精神・神経医療研究センター理事長の水澤英洋先生による公開講演会『脳とこころの健康をめざして』が開催されました。

<参加者の感想>

- ・脳が具体的に持っている機能が理解できた。こころも脳との関係が大事・密接だと思う。
- ・脳神経系の説明が詳しく聞けて良かった。
- ・脳とこころの区別・違いが少し理解できたような気がする。社会・環境の変化とこの分野の今後（含む現状分析）の相関をとる学問の体系化の必要性を感じた。
- ・脳と心の重要なことがわかって良かった。



- ・脳について様々なお話を聞けて勉強になりました。精神疾患の発生原因、治療薬が研究中であること等…知りませんでした。
- ・精神疾患の研究は遅れているということだが、脳外科と精神医療の両輪で研究が始まったのは心強いと思った。社会が大きく変わっていく中でそれに適応するのが難しい時代になっていると思うが、その変化に動かない強い心・しなやかな心を持てる社会を作ることが大切だと思う。それが、一人一人を生かし、幸せを感じられる社会だと思う。良いお話をありがとうございました。これからの勉強に更に力が入る思いです。

2019年度第2学期多摩ゼミ開講予定

2019年度第2学期の多摩ゼミ（東京多摩学習センター所属客員教授の指導のもと行われる自主勉強会）の予定をお知らせします。ご参加をお待ちしております。

※以下の内容は2019年9月1日現在のものです。詳細については別途、東京多摩学習センターのホームページ・掲示等でお知らせしますのでご確認ください。

◆「P≠NP」問題を理解する

講師：山崎 秀記 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学名誉教授）

定員：8名

日程：2019年11月7日・14日・21日・28日（全4回・木曜日）13:30～15:00

P≠NP問題は、インターネットの安全を担保する問題で、100万ドルの懸賞がかかる現代数学の超難問です。素朴に理解するのは比較的容易ですが、本質をとっても誤解しやすい問題です。下記テキストを分担を決めて読み進め、この問題についての議論を楽しみましょう。

テキスト：『「P≠NP」問題』野崎昭弘 著／講談社ブルーバックス（各自ご用意ください）

受講の条件：議論（論理的思考実験）を楽しまれる方を望みます。

◆近代絵画を考える

講師：木嶋 彰 先生（東京多摩学習センター客員教授・拓殖大学名誉教授）

定員：8名

日程：2019年11月6日・13日・20日・27日（全4回・水曜日）13:30～15:00

長い絵画史の中で、絵画は20世紀に急進的な変貌を遂げます。それらは時として分かりにくいと敬遠されますが、変貌の軌跡を俯瞰する時、画家の思想や感性を超えた地平、すなわち近代社会の光と影が垣間見えます。21世紀は芸術不在の時代と言われるますが、議論を通じて、その原因を探る機会となることを願っています。

◆自由民権運動を考える

講師：佐藤 正広 先生（東京多摩学習センター客員教授・東京外国語大学大学院国際日本学研究院特任教授）定員：5名

日程：2019年10月10日・17日・24日・31日（全4回・木曜日）10:00～11:30

色川大吉『明治精神史』（講談社学術文庫、もしくは岩波現代文庫版）を材料に、その中から第一部を取り上げ、自由民権運動の歴史的な位置づけと、色川による本の構成を読み取ることを試みる。

テキスト：『明治精神史』上・下巻 色川大吉 著／講談社学術文庫もしくは岩波現代文庫（各自ご用意ください）

受講の条件：安丸良夫『日本の近代化と民衆思想』を読んでいることが望ましい。

◆ゲーテ『ファウスト』を読む

講師：久保 哲司 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院社会学研究科教授）

定員：8名

日程：2019年11月15日・22日・29日・12月6日・13日（全5回・金曜日）11:00～12:30

ドイツ文学の最高傑作といわれるゲーテ『ファウスト』を邦訳で読みます。大作ですが、第Ⅰ部は老学者ファウストの苦悩、そして若返ったファウストと少女グレートヒェンの恋が中心となっており、分かりやすく面白いと思います。

テキスト：『ファウスト（上）』ゲーテ 著・柴田翔 訳／講談社文芸文庫（各自ご用意ください）

◆イエイツの『ケルトの薄明』を読む

講師：金井 嘉彦 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院法学研究科教授）

定員：8名

日程：2019年11月1日・8日・15日・22日・29日（全5回・金曜日）14:00～16:00

アイルランドにおいては19世紀から20世紀にかけてケルティック・リヴァイヴァルと呼ばれる、ケルト文化復興運動が起りました。本ゼミにおいては、その運動の中心にいたW・B・イエイツ（1865－1939）の『ケルトの薄明』を読みます。アイルランドの、主に妖精にまつわる伝承を集めたものですが、イエイツがそこになにを見ていたのかを考えます。

テキスト：『ケルトの薄明』イエイツ 著・井村君江 訳／ちくま文庫（各自ご用意ください）

◆ブルーストを読む⑥

講師：中野 知律 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院社会学研究科教授）

定員：8名

日程：2019年10月17日・31日・11月14日・28日（全4回・木曜日）14:10～15:40

フランスの作家マルセル・ブルースト（1871－1922）の小説『失われた時を求めて』第五篇『囚われの女』の後半部を邦訳で精読します。ブルーストの講読は2017年度からの継続ですが、初めて参加される方も歓迎いたします。

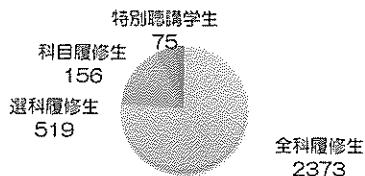
テキスト：『失われた時を求めて』11 囚われの女II』ブルースト 著・吉川一義 訳／岩波文庫（各自ご用意ください）

数字で見る東京多摩学習センター[2019年度第1学期]

(2019年5月1日現在)

<学部>在籍者数：3123人 ※集中科目履修生・看護、集中科目履修生・司書、教員免許更新講習生を除く

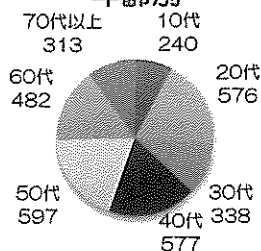
学生種別



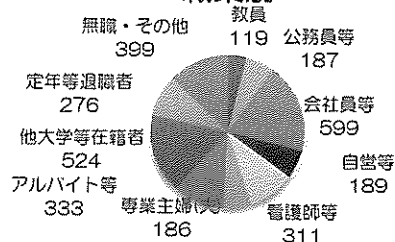
性別



年齢別

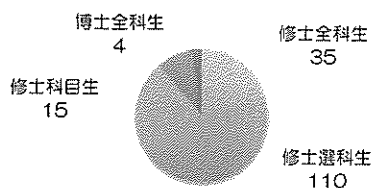


職業別

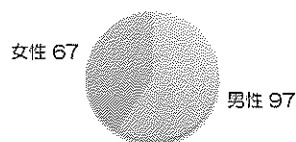


<大学院>在籍者数：164人

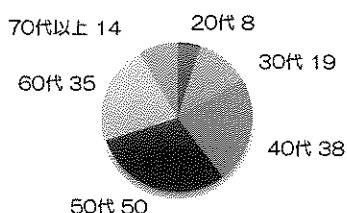
学生種別



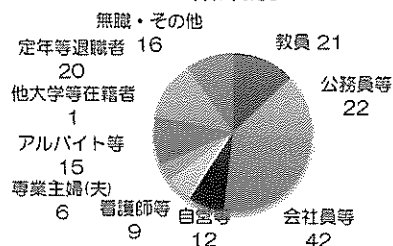
性別



年齢別



職業別



◆学生数の多い市トップ10◆

順位	市名	学生数
1	八王子市	592
2	小平市	247
3	所沢市	158
4	府中市	140
5	国分寺市	138
6	立川市	137
7	東村山市	127
8	日野市	111
9	小金井市	95
10	西東京市	90

※学部生・院生両方含む

◆登録者数の多い放送授業科目(学部)トップ10◆

順位	科目名	人数
1	英語事始め('17)	363
2	人体の構造と機能('18)	285
3	問題解決の進め方('19)	268
4	住まいの環境デザイン('18)	246
5	感染症と生体防御('18)	239
6	運動と健康('18)	220
7	日本語リテラシー('16)	209
8	身近な統計('18)	172
9	心理学研究法('14)	158
10	心理学概論('18)	155

2019年度第2学期多摩ゼミ（所長ゼミ）開講予定

◆教材選択の基準を考える

講師：五味 政信 先生（東京多摩学習センター所長・特任教授、一橋大学名誉教授）

定員：2～8名

日程：2019年11月5日・12日・19日・26日（全4回・火曜日）15:00～16:30

受講生には朝日新聞天声人語10編ほどを配布しますので、教材とするのに適切か否かを各編について判断していただき、その根拠について話し合います。その議論を通じて、「私たち日本語教師はどのような基準をもって教材の適不適を判断しているのか」について確認したいと思います（実際の教材作成も実施予定）。

受講の条件：現役、または元日本語教師の方を対象

「たま祭2019」開催のお知らせ

「たま祭2019」（第7回放送大学東京多摩学習センター文化祭）は、下記の通り開催を予定しております。

在学生・新入生の方はもちろん、卒業生の方、一般の方もどうぞご来場ください。

なお、詳細は東京多摩学習センターホームページ及び掲示等でお知らせいたします。

〔開催日時〕2019年10月12日（土）10～16時・13日（日）10～15時

※10月5日の大学院入試が荒天により延期された場合、13日は中止となります。

〔会場〕放送大学東京多摩学習センター

〔主催〕たま祭2019実行委員会

■新任職員ご挨拶

4月よりお世話になっております総務係の佐伯と申します。

新しい環境の中で新鮮な驚きを感じながら、早くも5か月が経ちました。

至らないこともあるかと存じますが、皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

（総務係：佐伯）

4月より東京多摩学習センターに勤務させていただいております。大学での学務の仕事は初めてですので、日々とまどうばかりでございますが、これまでに携わったことのない業務を行うことに楽しさを感じております。

あっという間に1学期が過ぎてしまいましたが、少しでも早く皆様から信頼していただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（教務係：五十嵐）

4月から東京多摩学習センターで教務担当となりました。他大学を含め大学勤務は長いですが、教務の仕事は初めてです。

日々、教務の仕事の難しさ・奥深さを感じています。一日でも早く皆様のお役に立てるようになりたいと思っています。あたたい目で見守っていただければ幸いです。よろしくお願い致します。

（教務係：和山）

■今号の表紙について

＜作品詳細＞2019年、297×210、水彩紙、鉛筆、水彩

＜作者＞東京多摩学習センター図書室・視聴学習室担当職員 齋藤文孝（さいとう ふみたか）

＜絵について＞

ウグイスやコゲラは林に多い鳥だ。行き渡る朝の光、風に揺れる葉音や雨の音に合わせるように、鳥たちが、枝から枝へと飛び交いながら歌を歌う。新たな一日の始まりを祝福しているようでもある。

林の奏でる音を聞く。木々も草も大地も歌う。林の歌を聞きながら、自分なりの表現でもう一つの林の歌を歌おう。

やがて、豊かな生命を育む台地の調べに連なるように、人々の新たな一日のくらしの歌が聞こえてくる。

（図書係：齋藤）

【編集後記】

放送大学で働き始めて4年経ちましたが、郷里の母は未だにNHK教育テレビと放送大学を混同しています。インターネットもBS放送も見ない私の母のような人にとって、放送大学はまだ遠い存在のようです。

一方、東京多摩学習センターでは、暑い日も寒い日も毎日のように来所し、勉学に励む学生さんたちの姿をお見かけします。その中には、私の母より高齢の方もいらっしゃいます。何歳になっても、何かを学びたいという気持ちを抱き続け、そのために努力を積み重ねる姿には、ただただ頭が下がる思いです。

生涯学習というと堅苦しく感じられるかもしれませんが、学ぶことを生きる楽しみや張り合いのひとつとするとき、放送大学という選択肢があり、東京多摩学習センターという場があるということを、もっと多くの方々に知っていただければ幸いです。

（総務係：小林）

2019年度第2学期カレンダー(教養学部・修士選科生・修士科目生)

(注) 大学院修士全生は『研究指導』履修の手引・博士全生は『大学院博士後期課程履修の手引』と『学生生活の基』をあわせてご参照下さい。

10月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5 大学院 入試	6 入学者の 集い
7 開所日	8	9	10 学生 研修旅行	11	12 たま祭	13 たま祭
14 体育の日	15 臨時 開所日	16	17	18	19 面接授業 空席発表	20
21 開所日	22 即位礼正 殿の儀	23	24	25 面接授業 追加登校 始まる	26	27
28 開所日	29	30	31			

1月

月	火	水	木	金	土	日
		1 元 日	2 年始開所	3 年始開所	4	5
6 開所日	7	8	9	10	11	12
13 成人の日	14 臨時 開所日	15	16	17	18	19
20 開所日	21 試験(院・ 看護再)	22 試験 (院)	23 試験 (学部)	24 臨時 開所日	25 試験 (学部)	26 試験 (学部)
27 開所日	28 試験 (学部)	29 試験 (学部)	30 試験 (学部)	31 臨時 開所日		

11月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 文化の日
4 開所日	5	6	7	8	9	10
				通信指導提出期間について web 11/8~11/29 17:00 郵送 11/15~11/29(必着)		
11 開所日	12	13	14	15	16	17
18 開所日	19	20	21	22	23 勤労感 謝の日	24
25 開所日	26	27	28	29	30	

2月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 開所日	4	5	6	7	8	9
10 開所日	11 建国記念 の日	12	13	14	15	16
			科目登録申請について web 2/13~2/29 郵送 2/13~2/28(必着)			
17 開所日	18	19	20	21	22	23 天皇 誕生日
24 開所日	25	26	27	28	29 2020年度第1学期 学生募集 第1回目〆切日	教員免許 更新講習 試験

12月

月	火	水	木	金	土	日
						1
				2020年度第1学期学生募集 受付期間 第1回目 11/28~2/29 第2回目 3/1~3/17		
2 開所日	3	4	5	6	7	8
9 開所日	10	11	12	13	14	15
16 開所日	17	18	19	20	21	22
23 開所日	24	25	26	27	28	29 年末開所
30 開所日	31 年末開所					

3月

月	火	水	木	金	土	日
						1 教員免許 更新講習 試験
2 開所日	3	4	5	6	7	8
9 開所日	10	11	12	13	14	15
16 開所日	17 2020年度第1学期 学生募集 第2回目〆切日	18	19	20 春分の日	21 学位記 授与式 (NHKホール)	22
23 開所日	24	25	26 図書館 開 室	27 図書館 開 室	28	29
30 開所日	31					

(注) このカレンダーは2019年9月末時点のものです。日程等の変更があった場合は、学習センターHP・センター内の掲示板等でお知らせいたします。